



大自然

「おひさま、『清らかな水』、『やわらかな土』、『おいしい空気』、それらによって、きれいな花が咲き、心癒され、新鮮な野菜、魚などが育つ……。」

神様は私たちに自然の恵みを与えてくれています。

それ以上を求める欲が出で、心も乱れ、身体も乱れていきます。

食べ物の好き嫌いの多い人は、人の好き嫌いも多いような……。

当たり前ですが、自分の身体は自分の食べるものでできています。

おいしいって思えるのは身体も喜んでいるつてことですね。

せっかく与えられた命、自然に逆らわず、心地よく生きていきたい。大自然の恵みに感謝です。

ふるさと21株式会社 一本柳 芳子

「ファームレター」 Vol.21
2018年2月25日号（毎月発行）
発行／一般社団法人 自然食ねっと
デザイン／株式会社ナシカ
文・編集／石川千晶 写真／浦岡伸行



風車の町 佐田岬の会の情報を映像でご覧いただけます。



〒250-0024 神奈川県小田原市根府川 549-3 TEL.0120-07-8313

◎自然食ねっと参加生産者の作物を产地直送



*風車の町 佐田岬の会の商品は上記サイトでご購入いただけます。

豊かな土壌が作りあげる自然栽培の甘夏

愛媛県の柑橘全体の生産量は年間約20万トンを超え、40年以上も日本一の座をキープしている。約40品種が栽培され、その数は日本一だ。収穫時期がそれぞれ異なるため、一年を通じてさまざまな品種を味わえることが魅力である。

愛媛県は年間平均気温が15度以上で、最低気温が氷点下5度以下にならず、日照時間が多いため、気象条件が柑橘類の成長に適しているといわれる。太陽の光と瀬戸内海の潮風をいっぱいに浴び、ミネラルを豊富に含んだ土壌で、甘さと酸味のバランスが絶妙な栄養価の高い柑橘が育つ。

四国最西端に位置し、瀬戸内海と宇和海を隔てる日本一細長い佐田岬半島で、日野文彦さんは甘夏・いよかん・みかん・デコポン・清見・せとか・レモンと、多種多様な柑橘の完全な自然栽培に取り組んでいる。自然農法の農地を受け継いで半世紀、いまでは有機の農業や肥料さえ一切使わずに期待を裏切らない柑橘を栽培し、肥沃な農地や磨き上げた技術、切り開いた販路を次世代へと確実に繋げてゆく。



風車の町 佐田岬の会の商品
甘夏 A品 5kg (無農薬無肥料)

※価格は時価。商品の詳細は「ふるさと21」サイト
(www.fsec.jp)をご覧ください。

風車の町 佐田岬の会
愛媛県西宇和郡伊方町

*写真はイメージです。



土と創る② 西宇和甘夏

本物の柑橘を愛娘に。
日野文彦の決意

Town of windmill, Sadamisaki's party

風車の町 佐田岬の会



【風車の町 佐田岬の会 日野文彦さん】

正直な生産、正直な販売。
変わらぬモットーを貫く

無肥料無農薬への挑戦

甘夏は大体4分の1ぐらいに収量を落として作っています。昔だったら木一本でコンテナ5杯、100キロぐらい収穫していましたが、今は20~25キロです。園地が広い分、僕にはちょうどいいし、毎年きつちりなってくれるようになりました。

流通の厳しさには当初、四苦八苦しました。ほんの一握りの自然食を扱うようなターゲットに向けて3年間ぐらい、年間70万円ほど電話代を使いました。2年目は断られた後に手紙、はがき、電話を繰り返して流通を開拓しました。時間とともに取引先が増えてきて、個人のお客さんも摑めるよう、行けるところには行つて商品を販売しました。全部が稼働しているわけではありませんが、個人のお客さんは1000件を超えていました。

甘夏が甘くなるのは、だいたい4月中旬以降です。うちの園地は不思議なことに、5月になると糖度が13度を超えて甘いみかん並みになり、非常に珍しいといわれます。とにかく、目標は50トン全量出荷です。見た目がボロボロだらうが、僕の仕事は世の中に出すこと。甘夏は当初、販売にかなり苦戦しましたが、今では残り少ないときなど、すす付きの状態で買つてくださる方もいます。

僕の甘夏は皮が薄くて中の果肉が硬いぐらい、しっかりと入つてくるような、すつきりとした食べやすい甘夏だと、お客様からよく言われます。

おじいちゃんが農業をしていて、親父が自然農法を始め、もう50年ぐらいになります。僕が異業種から農業を継いだこの10年は、どうせやるなら徹底して本物を作ろうと、肥料も農薬も全く使わない自然栽培です。僕自身が一番気をつけていることが正直な生産と正直な販売。どれだけひどい状態になつたときでも、とにかくぐつと我慢します。

無肥料無農薬にしだして3、4年ぐらいは、収量や実の太る大きさなどに、ちょっとずつ苦労しました。一番悩ましかつたのは、柑橘全般の皮に黒いすすのような汚れがつくことです。周りに自然栽培をしている人がいないので、自分一人で研究しながら、「なぜこんなに真っ黒に、すすぐだけになってしまったんだろ」と模索しました。けになつてしまつたんだろ」と模索しました。すす病菌はカイガラムシなどの排泄物や分泌物

を養分に増殖します。害虫駆除の農薬を使えれば被害は出ませんが、それでは意味がありません。甘夏は皮が強いので、タワシで汚れを洗つて出荷していました。汚い部分は摘み落とせばいいので、園地をきれいに維持していくよう努力しました

どんな状態のものでも完売を目指す

状態がいい」と驚いていました。その方が柑橘の味を「酸がきれい」と表現してくださいました。僕の子どもは柑橘がすごく好きで、僕が作ったものは見た目が汚かるうが、何でもよく食べます。いま10歳の子どもが将来、僕みたいに無理せず、考えることもなく、スマートに農業を継げたらいいなと思っています。人を雇つて園地を運営するための作業環境だけは早いうちに整えておきたい。

農薬も肥料も撒かなくていい、無理してきれいなものをあらなくていい、加工品からA・B・C品まで、作った物は全部世の中に出せるように出荷先さえ用意しておけば、子どもに技術がなくとも困らず、幸せにできるかな、ボーナスになるかなと。そうすれば、残せる農業になると思うんです。

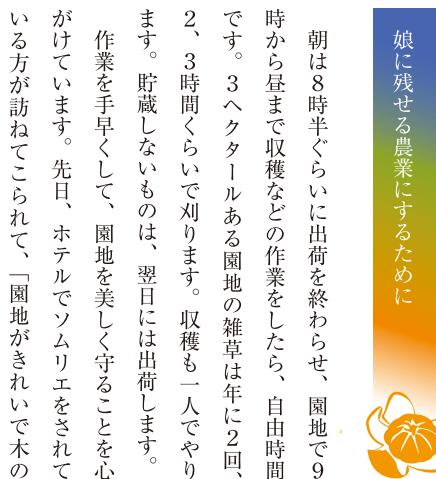
に手がかからないのは、土が出来上がっている状態だからだと思います。以前は土も硬かつたのですが、いまは草の根がわつと張り巡らされているので、踏んでわかるくらい軟らかくなっています。うちの園地は、すごくいいところばかりにあるんです。どこかの園地を自然栽培しても安定していますので、土壤の条件のよさに感謝しています。我慢する期間が長いなあと思いましたが、農業自体が以前と比べて格段に楽になっています。

仲間を増やすという面では、来る者は拒みません。自分も販路開拓は大変だったので、「一緒に販売をやりたい」と言われば労力は惜しみません。今後は加工に力を入れたいと思っています。みかんはジュースの注文を取つたら生で出す分がなくなつてしましました。甘夏やいよかんなどの中晩柑の加工品を増やしたい。ジャムなどのあります。ためには、正直な生産と正直な販売を続けないと、期待を裏切ることになります。正直、今は木が落ちて暴れることなくなつてきてるので、補助的に剪定するだけで作業量も少なく、自然栽培をやってよかつたなど実感しています。こんな



状態がいい」と驚いていました。その方が柑橘の味を「酸がきれい」と表現してくださいました。僕の子どもは柑橘がすごく好きで、僕が作ったものは見た目が汚かるうが、何でもよく食べます。いま10歳の子どもが将来、僕みたいに無理せず、考えることもなく、スマートに農業を継げたらいいなと思っています。人を雇つて園地を運営するための作業環境だけは早いうちに整えておきたい。

農薬も肥料も撒かなくていい、無理してきれいなものをあらなくていい、加工品からA・B・C品まで、作った物は全部世の中に出せるように出荷先さえ用意しておけば、子どもに技術がなくとも困らず、幸せにできるかな、ボーナスになるかなと。そうすれば、残せる農業になると思うんです。



娘に残せる農業にするために

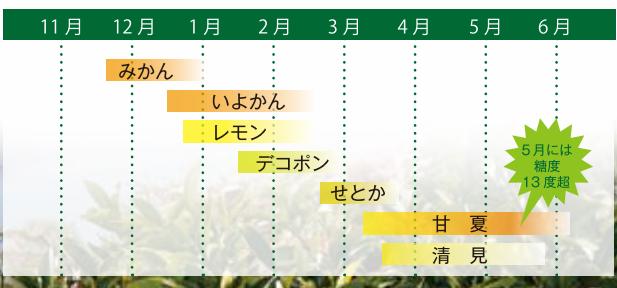
柑橘の果肉をマカロニサラダに

11月20日からみかん、12月15日からいよかんの収穫がスタートし、いよかんをとりながらレモン、1月15日からデコポン、デコポンをとり終えたらせとか、3月8日から甘夏、15日からきよみと、年間の収穫の日付がほぼ決まっているという。6月頭まで甘夏を収穫したら、あとは普通の農作業になる。

農薬を全く使っていなため、皮ごと使って、ママレードやジャムを作る人が多いそうだ。「自然栽培のものは自分の身を守ろうとするファイトケミカルが強力なので、皮ごと絞ると胸焼けがするぐらい苦味が強くなります。だから生で皮ごとすってジュースにするのはお勧めしていません」と日野さん。

「柑橘はそのまま食べるのが一番おいしいですが、料理に絞つてかけてもいいですね。柑橘の果肉だけをポロポロ細く手でちぎってマカロニサラダに混ぜると、すごくおいしいですよ。うちのいよかんが強烈においしくて、5トンぐらい作つて2月中旬まで出荷しますが、1月の中ぐらいには予約で販売終了です」

風車の町 佐田岬の会 旬の柑橘カレンダー



自然の作物を求めて僕の商品を買ってくれる方のために、正直な生産と正直な販売を続けないと、期待を裏切ることになります。正直、今は木が落ちて暴れることなくなつてきてるので、補助的に剪定するだけで作業量も少なく、自然栽培をやってよかつたなど実感しています。こんな

暮れの加工品を増やしたい。ジャムなどのあります。ためには、正直な生産と正直な販売を続けないと、期待を裏切ることになります。正直、今は木が落ちて暴れることなくなつてきてるので、補助的に剪定するだけで作業量も少なく、自然栽培をやってよかつたなど実感しています。こんな

暮れの加工品を増やしたい。ジャムなどのあります。ためには、正直な生産と正直な販売を続けないと、期待を裏切ることになります。正直、今は木が落ちて暴れることなくなつてきてるので、補助的に剪定するだけで作業量も少なく、自然栽培をやってよかつたなど実感しています。こんな

暮れの加工品を増やしたい。ジャムなどのあります。ためには、正直な生産と正直な販売を続けないと、期待を裏切ることになります。正直、今は木が落ちて暴れることなくなつてきてので、補助的に剪定するだけで作業量も少なく、自然栽培をやってよかつたなど実感しています。こんな

暮れの加工品を増やしたい。ジャムなどのあります。ためには、正直な生産と正直な販売を続けないと、期待を裏切ることになります。正直、今は木が落ちて暴れることなくなつてきてので、補助的に剪定するだけで作業量も少なく、自然栽培をやってよかつたなど実感しています。こんな

